

令和8年8月12日

練馬区教育委員会事務局

練馬区立中村西小学校校舎等改築説明会 会議録

- 1 日 時 令和8年7月7日（火）午後6時～午後7時
- 2 場 所 練馬区立中村西小学校 体育館
- 3 出席者 練馬区 学校施設課 3名
施設整備第二課 5名
設計会社 （株）相和技術研究所 2名
- 4 参加者 48名（在校児童の保護者、近隣にお住まいの方、入学予定者の保護者等）
- 5 配布資料
 - ・ 次第
 - ・【資料1】計画概要書（新校舎について）
 - ・【資料2】鳥瞰イメージ
 - ・【資料3】建替計画・工事工程表
 - ・【資料4】新校舎配置・平面図（案）
 - ・【資料5】仮設校舎配置・平面図（案）
- 6 内容
 - (1) 開会のあいさつ
 - (2) 出席者の紹介
 - (3) 新校舎および仮設校舎についての説明（資料1～5をもとに説明）
 - (4) 質疑応答
 - (5) 閉会

7 質疑応答の内容

近隣住民

- Q 1 ①北東門を現在の位置に設置する理由は何か。
②北東門を利用する車両の種類や規模を教えてください
③給食配送車の大きさについて伺いたい。
- A 1 ①門の安全性への配慮と、給食搬入動線を考慮した駐車スペース等の敷地利用効率を考慮して計画している。
②給食車両や施設管理車両等を想定している。
③給食車両は、2t車程度である。

近隣住民

- Q 2 ①説明会の開始時刻が早く参加が難しい。説明会の録画配信や再開催、定期的に意見を伝えられる機会を設けてほしい。
②工事期間中の砂埃対策はどのように行うのか。
③北側のサクラは残せないのか。また、樹木の伐採はどのような考え方なのか。
④今後、気になる点が出たときに、どこに問合せすればいいか。
- A 2 ①工事の各段階（仮設校舎建設、既存校舎解体、新校舎建設等）において説明会を開催する予定である。説明会資料の配布や案内看板の設置も行い、地域の皆様のご意見を伺いながら進めていきたい。
②工事エリアを仮囲いで囲うほか、解体工事では防音シートを設置し、コンクリート解体時には散水を行うなど、粉じんの飛散防止に努める計画である。詳細については今後の説明会で説明する。
③樹木については事前に樹木診断を実施し、移植可能なものは移植する。なお、北側のサクラについては、工事範囲に干渉するため撤去する計画である。植樹する樹木については、今後検討していく。
④教育委員会事務局学校施設課学校整備担当を窓口として対応する。

保護者

- Q 3 ①仮設校舎の配置図を見ると、図工室、家庭科室、理科室などの特別教室がないように見える。仮設校舎使用期間中は、理科実験や家庭科実習等の授業は実施できなくなるのか。
②仮設校舎使用期間中も、体育の授業は体育館で実施できるのか。

③渡り廊下は雨天時でも濡れずに通行できる構造となるのか。

A 3 ①既存体育館棟（1F：特別教室 2F：体育館）は新校舎建設まで継続利用する計画である。そのため、授業への影響は生じない。

②仮設校舎と既存体育館棟は渡り廊下で接続する計画である。仮設校舎から既存体育館棟へ移動できる動線を確保し、引き続き既存体育館を利用した授業を実施する予定である。

③渡り廊下には屋根を設置する計画であり、雨天時でも濡れずに通行できる予定である。

近隣住民

Q 4 ①現在の校舎よりも道路に近い位置に新校舎が建設されるが、建物の高さは現在より高くなるのか。

②北西門は日常的に利用するのではなく、特別な際に使用するという認識でよいのか。

③アリーナ上部の屋根はどのような形状となるのか。

A 4 ①校舎棟自体は、部分的に現況より道路に近づくが、北側ボリュームは高さを抑えて計画しており、現況より低くなるため、日影など周辺影響が悪くなることはないと思われる。

②中村西小学校の児童が日常的に利用するものではなく、将来プール共同利用を行う学校の児童が利用することを想定している。

③アリーナの屋根は、緩勾配の片流れを計画しており、立面的には陸屋根（平らな屋根）となる。

近隣住民

Q 5 ①イメージ図ではプール、体育館、校舎の屋根が同じ高さに見えるが、平面図を見ると屋根の高さが異なっているように見える。平面図とイメージ図は整合しているのか。また、建物高さや日影への影響について教えてほしい。

②現在の体育館の高さはどの程度か。

A 5 ①屋内プールは平屋建てで、高さ約 6m、体育館（アリーナ）も同じく平屋建てで、高さ約 9m 程度を想定している。資料 4 では既存建物の配置を青線で示しており、北側の日影については、アリーナ部分を除き概ね平屋建てとなる計画である。今後、断面図等も用いて建物高さや日影について分かりやすく説明

していきたい。

- ②現在の体育館の高さは約 10m であり、新しい体育館は現状よりやや低くなる計画である。

保護者

- Q 6 ①体育館で活動するスポーツクラブに加入している。工事期間中に体育館が利用できなくなる期間はあるのか。

- ②校庭が利用できなくなった場合の対応や、体育館利用に関する調整内容はどのくらい前に知らせてもらえるのか。

- A 6 ①新体育館が完成するまでは、既存の体育館を利用できる。ただし、校庭利用が制限されることに伴い、これまで校庭を利用していた団体から体育館利用の要望が出ることも想定されるため、利用時間や回数が減少するなど、利用条件が厳しくなる可能性がある。

- ②今年度については予定どおり実施するが、秋頃から校庭利用に制限が生じるため、開放団体等と協議を進めていく予定である。まずは来年 3 月頃までを目安に、地域や団体の皆様と相談しながら今後の利用について検討を進めていきたい。

利用方法や条件について開放団体等へ順次お知らせしていきたい。

保護者

- Q 7 ①工事の着手時期が後ろ倒しとなる可能性はあるのか。

- ②仮に工事を中断するような事態が発生した場合、校庭利用の制限期間が延びる可能性はあるのか。

- ③校庭面積が約 1,000 m²となる期間が 2 年ほど続くようだが、その間の運動会や体育の授業はどのように実施するのか。

- A 7 ①工事は必要な期間や施工手順を十分に検討した上で工程を計画しており、予定どおり着手・完了することを前提としている。ただし、地中埋設物が発見されるなど、事前には想定できない事象が発生した場合には、工事の中断や遅れが生じてしまうため、学校と相談の上、状況を説明する。

- ②工事期間は約 4 年半を予定しており、基本的には工期が延びないように進めていく。状況によっては 1～2 週間程度の調整が必要となる可能性はあるが、全

体工期の中で調整して、工期延長が生じないように努める。

- ③約 1,000 m²の校庭スペースを活用しながら、体育の授業や休み時間の活動場所を確保する予定である。運動会については、他施設や他校の校庭を借りて実施する方向で検討している。

保護者

- Q 8 ①工事中、仮設校舎で授業を行う際の騒音の影響はどの程度あるのか。
②学童クラブについては、仮設校舎使用期間中に利用スペースが少なくなるように見受けられるが、どのように運営する予定か。
- A 8 ①仮設校舎については、特に窓から音が伝わりやすいことを考慮し、二重サッシを採用するなど、騒音の影響を低減する構造としている。工事中においても、できる限り教育活動への影響を抑えられるよう配慮していく。
②学童クラブについては、既存の学童クラブ棟を残しながら運営する予定である。また、必要に応じて特別教室等も活用し、現在と大きく変わらない形で運営できるように対応していく。

近隣住民

- Q 9 北西門については、人の出入りが発生するような門の設置を避け、緑地を連続させる計画としてほしい。また、門が必要であれば別の位置への設置やプール配置の見直しを検討してほしい。
- A 9 ご意見として承った。